特定非営利活動法人日本火山学会 2015 年度秋季大会プログラム

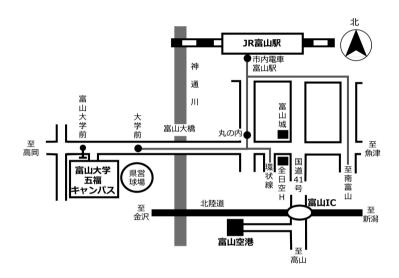
期間:2015年9月28日(月)~9月30日(水)(学術講演会)

会場:富山大学五福キャンパス

連絡先·責任者: 2015 年度秋季大会実行委員会 石﨑泰男委員長 E-mail: ishizaki @ sci.u-toyama.ac.jp

【講演会場】

富山大学五福キャンパス 共通教育棟、理学部棟および黒田講堂ホール 〒 930-8555 富山県富山市五福 3190 (TEL: 076-445-6011 代表) http://www.u-toyama.ac.jp/access/gofuku/index.html



※交通

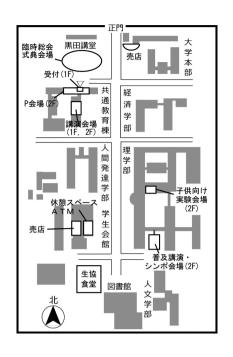
市内電車(料金 200 円)を利用の場合には、JR 富山駅から「大学前」停留所まで約 15 分. 下車後徒歩約 5 分. バス(料金 240 円)を利用の場合には、JR 富山駅前富山地鉄・路線バス「富山大学経由」乗車約 10 分. 「富山大学前」バス停下車すぐ、富山空港からは「富山駅行」バス(料金 410 円)が運行されています。北陸自動車道「富山 IC」からは約 20 分ですが、五福キャンパス内の外来専用駐車場が手狭のため、公共の交通機関をご利用ください。

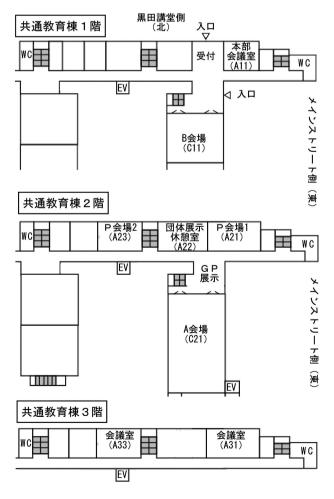
※会場

A 会場:共通教育棟 C21 号室 B 会場:共通教育棟 C11 号室

ポスター会場: 共通教育棟 A21 号室, A23 号室

団体展示・休憩室: 共通教育棟 A22 号室 大会実行委員控え室: 共通教育棟 A11 号室





【火山学会創立60周年記念祝賀会】

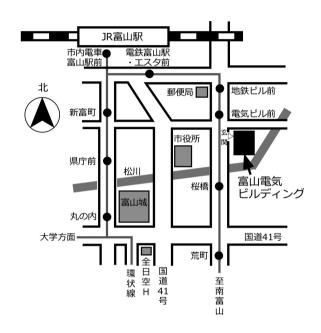
日 時:9月29日(火)18時30分~20時30分

会場:富山電気ビルディング5階大ホール

会 費:一般:6000円, 学生:4000円

祝賀会は事前申込が原則となります.

当日申込を希望される方は受付にお問い合わせください.



富山地方鉄道市内電車(大学前-電気ビル前) 約22分 片道200円 約7分間隔で発車

なお、新富町で下車して、会場までの約500mを歩いた方が到着は早い。

【口頭発表スケジュール】

		A 会場 (共通教育棟 C21 教室)	B 会場 (共通教育棟 C11 教室)		
	午前 (10:00~12:30)	ジオパーク (特別セッション) (ポスター発表 (3 件) 口頭紹介各 5 分) ジオパーク討論会	噴火ダイナミクス		
9月28日 (月)	午後 (13:30~17:00)	口永良部火山・噴火史・火山災害	地殻変動の影響と地下構造		
	午後 (17:15~18:00)	ポスターセッションコアタイム(A21 号室,A23 号室) 奇数番号(P01, 03, 05~)			
	午後 (18:15~19:00)	ポスターセッションコアタイム(A21 号室,A23 号室) 偶数番号(P02, 04, 06~)			
9月29日 (火)	午前 (9:00~10:45)	火口湖・熱水系	噴煙ダイナミクス		
	午前 (10:45~11:30)	ポスターセッションコアタイム(A21 号室,A23 号室) 全ポスター(P01~P96)			
	午後 (12:30~15:15)	臨時総会・受賞記念講演会(黒田講堂)			
	午後 (15:15~17:15)	60 周年記念式典(黒田講堂)			
9日30日 (水)	午前 (9:00~12:00)	モニタリング	溶岩流・マグマ供給系		
	午後 (13:00~14:30)	箱根火山	マグマ・岩石学		
	午後 (14:40~15:00)	学生優秀発表賞 表彰式			

- ※一人あたりの講演時間は15分ですが、3分は質疑応答時間として残すようにしてください.
- ※講演会場には液晶プロジェクタ 1台,スクリーン 1 面があります.OHP やプロジェクタは用意できませんのでご注意ください.
- ※9月28日(月)午前・A会場のジオパーク(特別セッション)は一般に無料で公開されます。

【ポスター発表スケジュール】

今回はコアタイムが各発表毎に2回あります.ただし、学生優秀発表賞の審査は初日にお願いします.

- ・ポスター掲示時間:9月28日(月)9:00~9月30日(水)14:00 共通教育棟 A21号室、A23号室
- ・コアタイム:9月 28日(月)17:15 ~ 18:00(奇数番号 P01, P03, P05 ~)
 - 9月28日 (月) 18:15~19:00 (偶数番号 P02, P04, P06~)
 - 9月29日 (火) 10:45~11:30 (全ポスター P01~ P96)
- ·パネルの大きさは、幅約 90cm×高さ約 210cm です.

・電源の必要なパソコンやビデオの使用はできません.

【そのほかの行事・会合予定】

・9 月 27 日(日)13:30 ~ 15:30 火山防災シンポジウム 富山大学理学部多目的ホール

「御嶽山噴火から1年~イザ!に備えた火山学入門~」

· 9 月 27 日 (日) 13:30 ~ 15:30 公開講座 富山大学理学部 A239 実験室

―親子で噴火実験―「噴火から身を守ろう!」

・9月27日(日)火山防災委員会

· 9 月 27 日 (日) 16:00~17:00 日本火山学会理事会 富山大学共通教育棟 A31 号室

・9 月 28 日 (月) 12:30 ~ 13:00 ジオパーク支援委員会 富山大学共通教育棟 A33 号室

【現地討論会】

立山(弥陀ヶ原)火山(1泊2日)

案内者:中野 俊・奥野 充・石崎泰男

日程:10月1日(木)~10月2日(金)

【ジオツアー】

黒部川の峡谷(黒薙温泉)と扇状地(みずはくツアー2015)

案内者:山本隆治・君島 勝 (フィールドミュージアム水博物館)

日時:9月27日(日)

9月28日(月) 午前

A 会場

ジオパーク

座長:福島大輔・鈴木雄介・廣瀬 豆

10:00-10:15

A1-01 今後予想される日本の火山活動とジオパークの心構え ※中田節也

10:15-10:30

A1-02 火山の営みを地域にどう伝え共有するか

飯田 肇·※丹保俊哉·福井幸太郎·菊川 茂 増渕佳子·石崎泰男·竹内 章·柴原 崇

10:30-10:45

A1-03 洞爺湖有珠山ジオパークにおける火山情報発信の現 状 ※廣瀬 亘・宇井忠英・岡田 弘

10:45-11:00

A1-04 箱根ジオパークにおける情報発信の取り組み紹介 ※山口珠美・箱根ジオパーク推進協議会

11:00-11:15

A1-05 箱根火山の活動シナリオ試案と噴火確率に対する危 険度認知 ※小山真人・村越 真

11:15-11:30

A1-06 阿蘇ジオパークにおける 2014-15 年噴火への対応 ※池辺伸一郎・永田紘樹・渡辺一徳・石松昭信 片山 彰・山内万里子・兒玉夏子

11:30-11:45

A1-07 桜島における火山活動の情報発信 ※福島大輔 11:45-12:00

A1-08 全国火山系博物館連絡協議会とジオパーク

※佐藤 公・三松三朗・池辺伸一郎

菊川 茂・長井大輔

12:00-12:15

ポスター発表口頭紹介 各 5 分 (P01・P02・P03)

12:15-12:30

ジオパーク総合討論

B会場

噴火ダイナミクス

座長:松本亜希子・三輪学央

10:00-10:15

B1-01 火道浅部で分岐した新燃岳 2011 年噴火の噴火様式: 石基結晶化過程の考察から ※◎無盡真弓

中村美千彦

10:15-10:30

B1-02 噴出物の石基組織からみる桜島火山 2012 年 7 月 24 日山頂南岳火口噴火 ※松本亜希子・中川光弘 井口正人

10:30-10:45

B1-03 伊豆大島火山のマグマ供給系の変遷 ―最近 14000 年 間の組成変化から― ※石塚 治・下司信夫 Taylor R.N.・及川輝樹・川辺禎久・荻津 達

Taylor K.N. 及用海姆 用色形

10:45-11:00

B1-04 1888 年磐梯山水蒸気爆発 (8) 目撃情報から噴火ダイ ナミックスを探る ※浜口博之・中道治久

11:00-11:15

11:15-11:30

B1-06 高結晶度マグマの発泡とそれに伴う流動化

※奥村 聡·岩本将明·佐々木理

11:30-11:45

B1-07 玄武岩質火山灰の生成過程におけるマグマ脆性/塑性 遷移 ※三輪学央・石橋秀巳・下司信夫 斎藤元治・七山 太

11:45-12:00

B1-08 火道浅部条件における石基微細結晶の成長実験 ※◎河村祥一・中村美千彦・大槻静香

12:00-12:15

B1-09 火山性地震の発生時系列と噴火発生-近年の日本の 事例から- ※西村太志・高木朗充

12:15-12:30

B1-10 高サンプリング磁場観測と高速度撮影から推定する 桜島火山雷の性質 ※相澤広記・Cimarelli Corrado Ibarguengoitia Miguel A Alatorre・横尾亮彦 Scheu Bettina・Mueller Sebastian・井口正人

9月28日(月) 午後

A 会場

口永良部火山·噴火史·火山災害 座長:中道治久·宮縁育夫·宝田晋治

13:30-13:45

A1-092014年・2015年口永良部島火山噴火に伴う地震・空振の比較※中道治久・井口正人・為栗健園田忠臣

13:45-14:00

A1-10 口永良部島の 2015 年の噴火前後の地震活動 ※千葉慶太・上田英樹・棚田俊收

14:00-14:15

A1-11 口永良部島において 5 月 23 日にレベル 5 にあげる理由 ※井口正人・中道治久・山本圭吾・為栗 健森 俊哉・大湊隆雄

14:15-14:30

A1-12 口永良部島火山 2014-15 年噴火とその火砕流

※下司信夫·小林哲夫·井村隆介·井口正人

14:30-14:45

A1-13 口永良部島・新岳の 2014 年・2015 年噴火で発生した "火砕流" ※小林哲夫・山口健太

14:45-15:00

 A1-14
 EAI 法による口永良部島 2015 年 5 月 29 日噴火の降下火山灰量の推定
 ※田島靖久・下司信夫

中川正二郎・長井雅史

15:00-15:15 休憩

15:15-15:30

A1-15 史料にもとづく北海道渡島大島火山寛保噴火以降の 活動 ※津久井雅志

15:30-15:45

A1-16 テフラ層序からみた中之島御岳火山の噴火活動史 ※◎平嶺浩人・小林哲夫・宮縁育夫

15:45-16:00

A1-17 2013 年 10 月豪雨によって伊豆大島で発生した斜面崩壊のテフラ層序学的特徴 ※宮縁育夫・前野 深中田節也

16:00-16:15

A1-18 G-EVER 火山災害予測支援システムによる災害評価, 東アジア地域地震火山災害情報図の作成, CCOP 地 質情報総合共有システムの構築

> ※宝田晋治・Bandibas Joel・石川有三・丸山 正 古川竜太・吉見雅行・松本 弾・吾妻 崇 寺岡易司・奥村公男・G-EVER 推進チーム

16:15-16:30

A1-19 噴石衝突に対する山小屋の安全性に関する実験的検討 ※山田浩之・佐藤元宣・小笠原永久・吉本充宏

B 会場

地殻変動の影響と地下構造 座長:青山裕・小澤拓・小林知勝

13:30-13:45

B1-11 九州に沈み込む九州パラオ海嶺の行方と火山地震活動における役割 ※眞島英壽

13:45-14:00

B1-12 地震計アレイ観測による伊豆大島周辺の地殻不均質 構造の推定 ※中元真美・松本 聡・清水 洋 森田裕一・市原美恵・武尾 実・坂下至功 渡邊篤志・宮崎真大・神蘭めぐみ

14:00-14:15

B1-13 マグマ溜まりの消長に対する地殻・マントルの粘弾 性応答 ※山崎 雅

14:15-14:30

B1-14 新燃岳におけるゆっくりとした溶岩流出の継続ー ALOS-2, Sentinel-1A 干渉解析結果ー ※小澤 拓 宮城洋介

14:30-14:45

B1-15 三宅島 2000 年噴火のカルデラ形成期に観測された 50 秒パルスの力源の再検討 (2) -三軸楕円体モデルー ※宗包浩志・及川 純・小林知勝

14:45-15:00

B1-16 ALOS/ALOS-2 衛星を用いた SAR 干渉解析による弥 陀ヶ原火山・地獄谷の地殻変動について ※小林知勝

15:00-15:15 休憩

15:15-15:30

B1-17 ALOS および ALOS2 データから見た十勝岳 62-II 火 口近傍の局所的変動 ※◎成田翔平・村上 亮

15:30-15:45

B1-18 十勝岳の火口近傍観測と最近の活動 ※青山 裕 橋本武志・西村太志・市來雅啓・小山崇夫・岡田和見 田中 良・山田太志・翁長良助・三嶋 渉

15:45-16:00

B1-19 2010 年~ 2015 年における十勝岳の重力変化

※岡崎紀俊・高橋 良・岡 大輔・高橋浩晃 一柳昌義・山口照寛・本多 亮・宮城洋介・高木朗充 16:00-16:15

B1-20 有限要素法による十勝岳 62-2 火口の地殻変動の評価 ※高木朗充・岡崎紀俊・田村 慎

高橋浩晃・道下剛史

16:15-16:30

B1-21 DInSAR 観測により検出された十勝岳の地殻変動とその変動源 ※宮城洋介・川口亮平 小澤 拓・高橋浩晃

16:30-16:45

A1-20 自然災害からの避難行動を考える - 宮城県東松島 市における 3.11 津波による人命損失を例に-

※谷口宏充·菅原大助·田中倫久

16:45-17:00

A1-21 2014 年御嶽山噴火で登山者 59 人を私たちはなぜ失っ たか ※木股文昭 16:30-16:45

B1-22 GNSS-TEC 法で見る最近の火山噴火に伴う電離圏擾乱 ※◎中島悠貴・日置幸介

16:45-17:00

B1-23 2015年口永良部島噴火にともなう電離層擾乱

※青木陽介·西田 究

9月29日(火) 午前

A 会場

火口湖・熱水系 座長:原口 悟・伊藤順一

9:00-9:15

 A2-01
 IODP Exp333 C0012 点 (四国海盆北部) 背孤海盆玄 武岩のアルカリ元素濃集作用
 ※原口 悟

藤永公一郎・加藤泰浩

9:15-9:30

A2-02 放射性 Cs をトレーサーとした草津白根山山頂火口湖 の水収支の見積 ※木川田喜一・平山愉子 大川 綾・廣瀬勝己

9:30-9:45

A2-03 草津白根山熱水系の酸性変質過程におけるフッ素・ 塩素挙動 ※◎佐藤 泉・野上健治

9:45-10:00

A2-04 カメルーン火口湖での水中透明度の測定

※◎丈六啓介·佐伯和人·金子克哉·大場 武

10:00-10:15

A2-05 立山地獄谷の熱水系 ※◎関 香織・神田 径 丹保俊哉・小川康雄・高倉伸一・潮田雅司 鈴木惇史・齋藤全史郎・松永康生

10:15-10:30

A2-06 十勝岳火山噴出物中に含まれる熱水変質岩片の鉱物 学的特徴 ※◎井村 匠・大場 司 南 裕介・中川光弘

10:30-10:45

A2-07 岩手火山における水蒸気噴火履歴の再検討

※伊藤順一・濱崎聡志

B会場

噴煙ダイナミクス 座長:小園誠史・古川竜太

9:00-9:15

B2-01 浅間前掛火山の山頂部の地形と天仁噴火の火口近傍 堆積物の層序 ※安井真也・高橋正樹

9:15-9:30

B2-02 桜島火山におけるパーシベルによる降下火山灰の観測 ※小園誠史・三輪学央・眞木雅之

前坂 剛・味喜大介・井口正人

9:30-9:45

B2-03 移流拡散モデルのための即時的な火山灰データ同化 システムの構築にむけて ※石井憲介・新堀敏基 福井敬一・佐藤英一・橋本明弘

9:45-10:00

B2-04 火山灰雲のレーダーデータ 3 次元解析

※高橋 忍·真木雅之·井口正人

10:00-10:15

B2-05 火山灰雲の3次元内挿レーダデータの作成

※真木雅之

10:15-10:30

B2-06 噴煙からの粒子分別と移流輸送を考慮した 2 次元降 下・堆積プロセスー噴出物 GSD と降下火砕堆積物 GSD の定量的関係ー ※◎入山 宙・寅丸敦志

10:30-10:45

B2-07 桜島火山におけるブルカノ式噴火の火山灰粒度特性 と粒子濃度 ※古川竜太・山元孝広・石塚吉浩 下司信夫・七山太・及川輝樹・大石雅之

9月29日(火) 午後 臨時総会/記念講演/60周年記念式典(黒田講堂)12:30-17:15

記念講演

座長:宇都浩三 学会賞

13:00-13:30

S-01 キッチン火山実験と火山学の普及 ※林 信太郎

13:30-14:00

S-02 マグマ溜り学のすすめ:迫りくる火山活動活発化に

備えて

※高橋栄一

研究奨励賞

14:00-14:20

S-03 火山噴火現象を支配する素過程についての実験的・ 理論的研究 ※吉村俊平

14:20-14:40

S-04 玄武岩から読み取るユーラシア大陸東縁部背弧域上 部マントルの熱・物質循環過程 ※柵山徹也

14:40-15:00

S-05 火山性地地震の波形解析に基づく流体移動と噴火過程の研究 ※前田裕太

60 周年記念式典

司会:篠原宏志

15:15-15:25 会長挨拶(井口正人)

15:25-15:45 最近の学会活動の推移について(下司信夫)

15:45-16:15 火山学会 60 年 (荒牧重雄)

16:15-16:45 最近 20 年の火山学研究の変遷 (奥村聡)

16:45-17:15 60 周年事業委員会での試みと将来に向けての

提案(市原美恵)

9月30日(水) 午前

A 会場

モニタリング 座長:橋本武志・大湊隆雄

9:00-9:15

A3-01 十勝岳における簡易型マルチガス観測

※◎岡本理沙·橋本武志·田中 良

9:15-9:30

A3-02 ニオス湖マヌン湖における湖水の音速分布による二 酸化炭素濃度のモニタリング ※佐伯和人

金子克哉・大場 武・丈六啓介

9:30-9:45

A3-03 弥陀ヶ原火山の噴気活動の変遷と活動の活発化

※野上健治・赤木誠司・丹保俊哉

千葉達郎・岩田彰隆

9:45-10:00

A3-04 噴気を除去する画像処理 ※橋本武志

寺田暁彦・田中 良

10:00-10:15

A3-05 浅間火山山頂部における二酸化炭素拡散放出の特徴 ※◎森田雅明・森 俊哉・風早竜之介・辻 浩

B 会場

溶岩流・マグマ供給系 座長:石橋秀巳・前野 深

9:00-9:15

B3-01 ハイアロクラスタイトの形成機構の解明—水底溶岩 流の破砕を支配する要因について ※◎梅澤優美

海野 進・金山恭子・草野有紀・安田 敦

9:15-9:30

B3-02 島昭和溶岩のレオロジー則と脆性 - 粘性遷移

※石橋秀巳·三輪学央·三井雄太

9:30-9:45

B3-03 メディスン・レイク火山の溶岩流と溶岩チューブ洞窟から得られる知見―なぜ安山岩溶岩流に溶岩チューブ洞窟が見つからないのか?― ※本多 力ティンズレイ ジョン

9:45-10:00

B3-04 西之島溶岩流の形態的進化とその支配パラメータ ※前野 深・中田節也・金子降之

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45

A3-06 地球物理・地球化学観測で捉えた十勝岳の最近の火 山活動 ※高橋 良·岡崎紀俊

田村 慎・荻野 激

10:45-11:00

A3-07 十勝岳の最近の熱活動評価 ※◎田中 良

橋本武志・寺田暁彦

11:00-11:15

A3-08 流体の膨張と移動による楕円体震源のモーメントテ ンソル表現 ※◎水野尚人·市原美恵·亀 伸樹 11:15-11:30

A3-09 高サンプリング傾斜記録で見る超長周期帯域の信号 ※高橋浩晃·山口照寛·中尾 茂·八木原寛

平野舟一郎・後藤和彦・松島 健

11:30-11:45

A3-10 浅間山の一連の噴火活動(2004年~2015年)と VLP活動との比較 ※武尾 実・前田裕太

風早竜之介·青木陽介 11:45-12:00

A3-11 山頂観測データから見た、浅間山 2015 年 6 月 16 日 噴火 ※大湊隆雄・武尾 実・市原美恵 辻 浩・渡邉篤志

10:00-10:15

B3-05 インドネシアのシナブン火山で継続する溶岩ドーム/ ※中田節也·吉本充宏·前野 深 鈴木由希,外西奈津美,井口正人,大倉敬宏

Zaennudin A. · Hendrasto M.

10:15-10:30 休憩

10:30-10:45

B3-06 阿蘇1 噴火のマグマ供給系 ※宮城磯治·星住英夫 宮縁育夫

10:45-11:00

B3-07 白山火山における約 2200 年前溶岩の岩石学的検討 ※洒寄淳史·林信太郎·大場 司

11:00-11:15

B3-08 阿蘇火山 Aso-3 大規模噴火サイクルのマグマ供給系 層状マグマ溜まり形成に関する岩石学的制約

> ※金子克哉·井上和久·小屋口剛博·芳川雅子 柴田知之・高橋俊郎・古川邦之

11:15-11:30

B3-09 浅間山 1783 年天明噴火における斑晶鉱物の化学組成 ※◎塚原えりか・津久井雅志

11:30-11:45

B3-10 カムチャッカ北東端の単成火山の成因:鉱物組成か らの制約 ※◎西澤達治·中村仁美·岩森 光 Churikova Tatiana · Gordeychik Boris

石塚 治

11:45-12:00

B3-11 支笏カルデラ形成噴火に先行する噴火は存在するか ※中川光弘·宮坂瑞穂·松本亜希子·古川竜太

9月30日(水) 午後

A 会場

箱根火山 座長: 萬年一剛・長井雅史

13:00-13:15

A3-12 箱根火山 2015 年噴火の推移 ※萬年一剛 道家涼介・原田昌武・本多 亮・板寺一洋

菊川城司・行竹洋平・竹中 潤

13:15-13:30

A3-13 2015 年箱根山火山活動に伴う大涌谷の地表面変動 ※道家涼介·原田昌武·竹中 潤·萬年一剛

13:30-13:45

A3-14 箱根火山 2015 年噴火の火口近傍地域の観察 ※長井雅史·三輪学央·萬年一剛·石塚吉浩 山﨑誠子・古川竜太・吉本充宏・常松佳恵 内山 高・馬場 章・鈴木雄介

B 会場

マグマ・岩石学 座長:草野有紀・浜田盛久

13:00-13:15

B3-12 水に富む背弧玄武岩マグマによる地殻由来の斜長石 の取り込み ※浜田盛久

13:15-13:30

B3-13 アルミノシリケイトメルトとマグマの熱容量

※菅原 透

13:30-13:45

B3-14 久米島西方沖海域で発見された海底火山群の岩石学 的特徵 ※針金由美子·石塚 治·下田 玄 佐藤太一

13:45-14:00

A3-15 箱根火山大涌谷における 2015 年 6 月 29. 30 日噴出の 火山灰および熱泥流の構成鉱物 ※濱崎聡志 伊藤順一・萬年一剛・菊川城司・石塚吉浩

古川竜太・山崎誠子・草野有紀

14:00-14:15

13.45-14.00

A3-16 火山ガス組成から読み解く箱根山 2015 年噴火活動 ※大場 武·谷口無我·髙木健太·左合正和

代田 寧・池谷康祐・角皆 潤

14.15-14.30

P11

A3-17 最近の箱根火山のマグマ供給系と噴火のタイプ

※高橋正樹

14:00-14:15

B3-16 「たいりくプロジェクト」西之島調査 NT15-E02 の速報

B3-15 初期島弧のマグマ進化過程:オマーンオフィオライ

※田村芳彦・石塚 治・前野 深

※草野有紀·海野 進·北村啓太朗

石川剛志・永石 一弥

門馬大和·NIchols Alexander·佐藤智紀

古山裕喜・小山靖弘・高野克彦

ポスターセッション

今回はコアタイムが各発表毎に2回あります.ただし、学生優秀発表賞の審査は初日にお願いします. コアタイム:9月28日(月) 17:15-18:00 (奇数番号 P01, P03, P05~)

9月28日(月) 18:15-19:00 (偶数番号 P02, P04, P06~)

9月29日 (火) 10·45-11·30 (全ポスターP01~P96)

P01 ジオパークにおける情報発信 安全と観光のはざま P12 降下火山灰が発電用タービン設備等に及ぼす影響ー ※鈴木雄介 近年の被災事例に学ぶー ※土志田潔・竹内晋吾 P02 湯沢市の噴気地域における防災と観光への活用 服部康男 · 藤井智晴 · 廣瀬文子 ※山崎由貴子·沼倉 誠·金 潔 秋田駒ヶ岳火山,主成層火山形成期の形成史 地形判 P13 柴田百子·加賀美典明 読と岩石学に基づく噴出物の対比結果 富士山における観光客・登山者に対する火山防災の ※◎柳澤妙佳·藤縄明彦 P03 取り組み 一噴火時避難ルートマップの作成一 K-Ar 年代に基づく九重火山 (第1,3期)の活動史の P14 ※吉本充宏·内山 高·常松佳恵·馬場 章 ※山﨑誠子·星住英夫·松本哲一 藤井敏嗣・荒牧重雄・山下憲美・相原靖志・近藤照夫 P15 草津白根山干俣火観測施設井の岩石コア試料の層序 荒井健一・藤田浩司・廣谷志穂・成毛志乃・佐々木寿 ※長井雅史·上木賢太·水野勇希 と年代 岸本博志・木場啓太・千葉達朗 田中祐樹・乾 睦子・野上健治・棚田俊收 P04 御嶽山の完新世の噴火史 ※及川輝樹・鈴木雄介 男体今市テフラに付随する2層の火砕流堆積物の産 千葉達朗・岸本博志・奥野 充・石塚 治 状と形成過程 ※石崎泰男·森田考美·鳥山 光 P05 テフラ層序からみた草津白根火山の最近 5000 年間の P17 西南日本. 島根半島諸喰における水冷火山弾の古地 噴火活動 ※◎亀谷伸子·石崎泰男·濁川 暁 磁気 ※中岡礼奈·鈴木桂子·鹿野和彦 吉本充宏・寺田暁彦・上木賢太 白山火山における歴史時代に発生した火砕流 P18 P06 クッタラカルデラ火山の火砕物層序 ※三浦大助 ※田島靖久·東野外志男 上澤真平・竹内晋吾 阿蘇1火砕流と降下軽石層の層序 P19 ※星住英夫 P07 池田火砕流堆積物の基盤地形による岩相変化 宮縁育夫・宮城磯治 ※◎山本 望・鈴木桂子 ※千葉達朗 P20 弾道を描く噴出物の力学と防災 P08 大雪火山、旭岳の最近 3,000 年間の噴火活動 佐々木寿 ※佐藤鋭一・和田恵治・奥野 充・中村瑞恵 口永良部島における無人へリ観測 (序報) P21 御嶽山における火山性地震のスペクトルの特徴 ※大湊降雄·金子降之·小山崇夫·渡邉篤志 P09 ※長岡 優・加藤幸司・小木曽仁・山本哲也 神田 径・為栗 健・風早竜之介 P10 地震・傾斜波形解析から推定される御嶽山 2014 年水 P22 口永良部島 2015 年 (5/29, 6/18) 噴出物の構成物 蒸気噴火の初期過程 ※前田裕太·加藤愛太郎 ※伊藤順一・下司信夫・宮城磯治・斎藤元治 寺川寿子・山中佳子・堀川信一郎 三輪学央・長井雅史・東宮昭彦

P23

2015年5月における口永良部島の噴火活動について

※千葉慶太·上田英樹·棚田俊收·宮城洋介

三輪学央・川口亮平・長井雅史・前坂 剛

岩波 越·松本拓己·松澤孝紀

松廣健二郎・奥田 隆

國友 優・※阪上雅之

火山噴火に伴う泥流・土石流の発生について

P24	口永良部島火山の3次元比抵抗構造(序報)	P43	広帯域 MT 探査による九重連山周辺の比抵抗構造推
	※神田 径・宇津木充・小川康雄		定 ※◎塩谷太郎・宇津木充・相沢広記・上嶋 誠
P25	口永良部島火山の二酸化硫黄放出率の繰り返し観測:		小山崇夫・神田 径
	その2 ※森 俊哉・森田雅明・井口正人	P44	北海道駒ケ岳周辺の最近の地殻変動 ※村上 亮
	屋久島町 福岡管区気象台	P45	精密水準測量による口永良部島火山の地盤上下変動
P26	粘弾性母岩内におけるマグマ輸送の形・伝播様式・		(2) ※山本圭吾・園田忠臣
	速度のパラメータ依存性 ※◎竹口いずみ・隅田育郎		口永良部島水準測量班
P27	2014 年草津白根山の火山活動活発化に伴う地磁気変	P46	ALOS-2/PALSAR-2 データを用いた西之島の衛星画像
	化の要因 ※◎松永康生・神田 径		解析 ※安藤 忍・福井敬一
P28	2014-2015 年阿蘇山のスコリア中に気泡の合体が見え	P47	ALOS-2 干渉 SAR により捉えられた 2015 年箱根山・
	る? ※並木敦子		大涌谷火山活動に伴う地殻変動 ※小林知勝
P29	液体表面で振動する大気泡が発生する音波		飛田幹男・中島秀敏・矢来博司・森下 遊
127	※◎山河和也・市原美恵		和田弘人・仲井博之・三浦優司・山中雅之
P30	阿蘇中岳 2014-15 年噴出物の時間変化 ※下司信夫		山田晋也・撹上泰亮・上芝晴香
1 50	宮縁育夫・三輪学央・宮城磯治・横尾亮彦	P48	箱根山のごく小規模噴火に先立って2015年6月29
D2.1		P48	
P31	阿蘇中岳 2014?2015 年火山灰の色調の時間変化		日に観測された傾斜変動と火山性微動について
	※宮城磯治・下司信夫・星住英夫		※本多 亮·行竹洋平·原田昌武·加藤幸司
P32	新燃岳 2011 年噴火事例における火山灰供給モデルの		宇平幸一・森田裕一・酒井慎一
	検討 ※橋本明弘・鈴木雄治郎・新堀敏基	P49	伊豆大島三原山周辺の地殻変動について
	石井憲介		※高山博之・山本哲也・鬼澤真也
P33	イタリア・ストロンボリ火山の噴火に先行する傾斜	P50	阿蘇火山の火口底地形変化に伴う重力変化の見積も
	変動の特徴 (2) ※川口亮平・西村太志・青山 裕		り ※風間卓仁・大倉敬宏・吉川 慎
	山田大志・三輪学央・藤田英輔		横尾亮彦・西島 潤
	Maurizio Ripepe · Riccardo Genco	P51	2011 年霧島新燃岳のマグマ湧出期における周期的な
	Giorgio Lacanna		傾斜変動の再現モデル ※◎鎌田林太郎・武尾 実
P34	液体 - 空気互層スラグ流にみられるノコギリ波状圧	P52	稠密 GPS 観測による屈斜路カルデラ周辺のひずみ分布
	力変動:装置改良 ※◎菅野 洋・市原美恵		※大園真子・高橋浩晃・一柳昌義
P35	模擬 Tube pumice の生成を目指したポリウレタン	P53	精密水準測量で検出された霧島・えびの高原の地盤
	フォームの膨張・変形実験 ※◎大橋正俊		上下変動 (2012年3月~2015年6月) ※松島 健
	市原美恵・寅丸敦志		森 済・村瀬雅之・大倉敬宏・井上寛之・内田和也
P36	2014 年阿蘇火山噴火に伴う電磁気観測の結果について		宮町凜太郎・藤田詩織
	※宇津木充・鍵山恒臣・井上寛之	P54	東北地方太平洋沖地震の余効変動による火山影響評価
P37	地殻変動・火山ガス観測に基づく浅間山地下のマグ		※藤田英輔
	マ収支見積 ※風早竜之介・青木陽介・篠原宏志	P55	伊豆大島火山・安永噴出物のマグマプロセス
P38	中部沖縄海域硫黄鳥島周辺の海底火成活動の地球物		※福光さゆき・栗谷 豪・横山哲也
	理学的特徴 ※佐藤太一・井上卓彦・石塚 治	P56	秋田県乳頭温泉郷付近で発生した硫化水素中毒事故
	針金由美子・荒井晃作・下田 玄		※野上健治・滝沢英夫・岩田彰隆・林信太郎
P39	1986 年伊豆大島噴火の噴火様式変化に伴う二種類の	P57	新しい降灰予報について ※菅井 明・黒木英州
	火山性微動 ※◎黒川愛香・武尾 実・栗田 敬		林 洋介・新堀敏基
P40	デコンボリューションを利用した噴火地震の相対震	P58	有珠山・玄武岩質マグマの生成条件 ※栗谷 豪
	源決定 ストロンボリ火山への適用 (2)		田中真弓・横山哲也・中川光弘・松本亜希子
	※◎杉村俊輔・西村太志・青山 裕・山田大志	P59	プレート沈み込み開始期の火成活動とテトニクスの
	藤田英輔・川口亮平・三輪学央		解明を目指して: IODP 第 352 航海にて採取された岩
	Maurizio Ripepe · Riccardo Genco		石試料の分析結果 ※柵山徹也・道林克禎
P41	北海道東部火山フロント沿い(阿寒-弟子屈地域)		清水健二·Marie Python
- 11	の地震活動 ※一柳昌義・高橋浩晃・山口照寛		IODP Exp352 乗船研究者一同
	岡田和見・高田真秀・大園真子・岡崎紀俊	P60	薩摩硫黄島火山の後カルデラ期マグマ溜まりの揮発
D/12	内山和光・同山具乃・人園具丁・四崎和夜 火山性地震記録の自己相関関数による震源深さ決定	1 00	性成分濃度変化 ※斎藤元治
P42		D € 1	性成分振及変化 ※扇豚儿沿 十勝岳 1962 年噴火と 1988-89 年噴火におけるマグマ
		P61	
	野上健治・神田 径・寺田暁彦・小川康雄		活動の変遷 ※和田恵治・佐藤鋭一・日向宏伸
			中塚 裕

P62	伊豆 - 小笠原弧、スミスリフトから採取された2タ	P79	西之島火山周辺の海底地震合同観測 ※高木朗充
102	イプの玄武岩 ※◎平井康裕・岡村 聡・坂本 泉	1 /9	西澤あずさ・篠原雅尚・長岡 優・木村一洋
P63	東北日本、鳥海山 1801 年噴出物の岩石学的特徴		森下泰成・小野智三
103	※◎神谷知佳·伴 雅雄·大場 司·林信太郎	P80	降灰試料長期連続採取と日毎降灰率の迅速見積
			※嶋野岳人·井口正人
P64	蔵王火山五色岳形成前後の噴出物の岩石学的特徴	P81	ドローンを用いた火山ガス観測 ※寺田暁彦
	※◎西 勇樹・伴 雅雄・及川輝樹・山崎誠子		橋本武志・森 俊哉・森田裕一
P65	斑晶とメルト包有物の組成および組織から推定する	P82	単発エンジン航空機搭載用の航空機搭載型放射伝達
	富士山宝永噴火の珪長質マグマ溜まりでのマグマプ		スペクトルスキャナ (ARTS-SE) の開発 ※實渕哲也
	ロセス ※安田 敦・金子隆之・嶋野岳人	P83	雲仙普賢岳平成溶岩のレオロジー ※後藤章夫
	吉本充宏・藤井敏嗣	P84	西之島 2013 ~ 2015 年噴火における溶岩流出活動と
P66	国際深海科学掘削計画第 351 次研究航海で得られた		噴煙活動 ※福井敬一・安藤 忍・桜井利幸
	コア試料の岩石記載と岩石物性のまとめ	P85	西之島火山の調査航海結果(速報) ※森下泰成
D/7	※浜田盛久・金山恭子・草野有紀・石塚 治	DO.	小野智三・濱崎翔五・高橋日登美・野上健治
P67	中部日本, 黒姫火山の岩石学的進化 ※◎野寺 凜 石崎泰男	P86	2013 ~ 2015 年西之島火山の活動
P68	口呵※分 大峰スコリア中のメルト包有物の化学組成 阿蘇 -4	P87	森下泰成・濱崎翔吾・野上健治 ベトナム中部高原チュブルク火山の溶岩チューブ洞
100	火砕噴火直前のマグマ供給系 ※◎椎原航介	107	窟と溶岩樹型 ※本多 力・立原 弘
	長谷中利昭・磯部博志・山崎秀人・安田 敦		ラ・テイ・ブック, ローン・テイ・トゥアン
	外西奈津美・森・康		チュオン・クアン・クイ
P69	阿蘇中岳 2014 年 11 月~ 2015 年 3 月に噴出したスコ	P88	熱水系卓越型火山の非噴火時に見られる地磁気変化
	リアと火山灰粒子の岩石学的比較 ※長谷中利昭		の特徴 ※橋本武志・神田 径・宇津木充
	磯部博志・安田 敦・外西 奈津美・森 康		市來雅啓・小山崇夫
P70	カメルーン北西部、ニオス火山の噴火史とマグマ系	P89	草津白根火山白根火砕丘における基盤深度 水平二
	※長谷川健・宮縁育夫・小林哲夫・Aka Festus		層速度構造に基づく推定 ※◎桑原知義・寺田暁彦
	Boniface Kankeu・Issa Linus・Nche Nguemhe C.S.F. 金子克哉・大場 武・日下部実	P90	神田 径・小川康雄 箱根火山 2015 年噴火の火口と噴気孔―形成・崩壊・
	亚丁克成·八物 武·日下即天 Tanyileke G.·Hell J.V.	190	活動 ※萬年一剛・菊川城司・本多 亮・原田昌武
P71	火山活動モニタリングのための斜め写真測量システ		長井雅史・三輪学央・古川竜太・石塚吉浩
- / -	ムの開発 ※佐々木寿・野中秀樹・藤巻重則		山崎誠子・吉本充宏・常松佳恵・内山 高
	成毛志乃・岸本博志		馬場 章・鈴木雄介・松島 健・酒井慎一
P72	火山観測用自走式センサー「ほむら」の開発 -霧		森田裕一
	島硫黄山における火山観測試験- ※金子克哉	P91	箱根山大涌谷周辺の 2015 年の活動活発化に伴い観測
	伊藤公一・岩堀功大・安部祐一・鷺恕太郎		された現象 ※末峯宏一・和田さやか・池田啓二
P73	伊豆大島無人観測ロボットシンポジウムの活動報告		中村政道
	※佐伯和人·市原美惠·石上玄也	P92	箱根山における深部低周波地震と火山活動との関係
P74	合成開口レーダ衛星を用いた継続的な火山モニタリングの実施 ※本田 健・鵜殿俊昭・下村博之	D02	※棚田俊收 箱根火山 2015 年噴火の降灰分布 ※古川竜太
	アクの美地 ※平田 度・糖穀及品・下竹骨と 野崎高義	P93	石塚吉浩・山﨑誠子・萬年一剛・長井雅史・三輪学央
P75	小型固定翼 UAV を用いた三宅島山頂カルデラの詳細		吉本充宏・常松佳恵・内山 高・馬場 章
170	観察	P94	箱根山大涌谷周辺における全磁力繰り返し観測
	宮城洋介・棚田俊収		※山本哲也・宮岡一樹・高木朗充・原田昌武
P76	気象庁一般気象レーダーを用いた噴煙の検知能力評		竹中 潤・本多 亮・道家涼介・萬年一剛
	価 ※佐藤英一・福井敬一・新堀敏基・石井憲介	P95	2015 年箱根火山活動に伴う地殻変動とその変動源の
	高木朗充・真木雅之・菅井 明・黒木英州		推定 ※原田昌武・道家涼介・本多 亮・行竹洋平
P77	火砕物の初期帯磁率:即時モニタリング可能な火山		板寺一洋・萬年一剛・竹中 潤
	活動度指標 ※◎菅谷さりな・当間智盛・松本恵子		里村幹夫・宮岡一樹
D70	無盡真弓・中村美千彦・高橋一徳	P96	2015 年箱根火山の地震活動について ※行竹洋平
P78	小笠原硫黄島における地震計アレイ観測 ※上田英樹・川口亮平・千葉慶太		本多 売・原田昌武・道家涼介・齋藤竜彦 上野友岳・酒井慎一・森田裕一
	※上田央倒・川口元平・十果慶太 藤田英輔・棚田俊收		上野及笛・個井県一・林田俗一
	MX 山 大州 · 伽 山 及 収		